

くらし部通信6号



くらし部での話し合いをお知らせしていきたいと思ひます。

1, 児童の様子

学校への不安感がある児童へのかかわりについては本人の納得感も大切にしながらも、学校でも連携をとりながら全校でサポートしていけるようにする。また、子どもたち同士での小さいいたずらやからかいなどがあるため、子どもたちの細かなサインなども見落とさないようにしながら、丁寧に見取っていき、子どもたちにとって安心安全な学校であるようにしていきたい。

2, トイレのスリッパこそ、キレイに使う！！

下駄箱のくつはそろってきているが、トイレのスリッパは乱れていることがある。トイレはみんなで共有で使用するものであり、トイレでのマナーを守ることは人を思いやることでもある。次に使う人のことを考え、スリッパをそろえたり、気持ちよくみんながトイレを使用するにはどうすればいいかを考えられたりしてほしい。トイレのスリッパのことを通して、子どもたちの相手意識を育んでいきたい。



3, なかまタイムについて

なかまタイムでは、コロナの関係でできるものが限られている。そこで、「思いやり」「協力」「聞く」などのキーワードについて考え、行動レベルにまで落とし込むことをなかまタイムで大切にしていきたい。例えば、めあてを「みんなが安心できる『聞く』について考えよう。」とすることで、様々なアクティビティを通して、「目を見る。」、「うなづく。」、「拍手する。」、「リアクションする。」、「質問する。」など様々な意見がでてくる。このように『聞く』ことについてみんなで考えていくことが、子どもたちの聞き方の変容にもつながってくる。そして、その意見を画用紙にまとめ、掲示しておくだけで、学びの積み上げにもなる。このようなことを積極的に進めていくことで、コロナ禍においてもなかまタイムの充実になり、子どもたちが成長できると考えている。

4, ゲームやネットでのマナーについて

最近、子どもたちのオンラインでのゲームやネットでのやりとりにおけるトラブルも出てきている。子どもたちには、ネットの中でもみんなが楽しく過ごせるように考えることが大切だという話をしている。家庭とも連携をとりながら、対応していくべき問題であるため、今後も丁寧に対応策を考えていくべき事案だと共通理解した。

